



申  
42  
号



(株)JR東日本ステーションサービス (JESS)

## 2022年度夏季手当等に関する申し入れ

6月8日 第1回団体交渉にて趣旨説明を行う!

基本給月額 (契約社員含む) の

# 3.0ヶ月分 要求



コロナに向き合いながら日々奮闘する組合員への、

未来の活力となる適切な投資を行うことを強く求める!



### 私たちの主張

- これまでの2年間、コロナ禍に立ち向かいながら「安全」を第一に、利用者に快適な環境を提供してきた。
- 新人社員の増加や Microsoft365 の導入、女性社員寮借上げの投資による赤字は **“想定内の赤字、であり、その責任を社員に押し付けてはいけない。”**
- 「サポートコールセンター」「話せる指定席券売機の拡大」などによる環境変化はあるが、車椅子対応や窓口対応でお客さまに直接対応することは変わっていない。休憩中でも呼び出しがあれば対応せざるを得ない状況であり、現場の努力を評価するべきだ。
- **“過酷な労働環境の変化に現場の社員は「限界」を超えて「失望」に変わり始めている。未来に向けた活力、“生きがいのある企業、を目指し、社員の期待に応えるために満額回答が必要不可欠である。”**
- **“「ひと」を起点にした企業”を目指すためにも“ひと”を大切にしていくことは労使の共通の認識である。**

### 会社の主張

- 「JESS ビジョン 2023 ムーブ」の始動の年となる。社員一人ひとりの地道な努力の積み重ねで、収益確保に向けて努力していただいている。また、極めて公共性の高い事業の中、感染対策を徹底し、今日まで努力していることに感謝申し上げる。
- 2021 年度期末決算は減収・減益。しかし、2022 年度は黒字を見込んでいる。業務品質の向上・適正かつ効率的なコスト管理を行なっていく。
- JR 東日本を取り巻く経営環境や当社の営業収益の見込みなど、極めて慎重な判断が必要である
- **“業務形態が変わる一つの過渡期にきている。環境の変化により、現場の社員には苦勞をかけている。現場でお客さまを待たせないための工夫をしていただいていることは理解している。”**
- **“「ひと」を大事にして「当社で働いて良かったと思えるような企業の実現」を目指す。”**

**“ひと”を起点にした企業を目指すことを確認!!**

労使で認識一致した中での回答は **“満額回答、しかない!”**

**現場での努力を報いるために満額回答を勝ち取るう!!**